

政党の活動、資本の次第の着し、時代に於ても極更我等が生者の上に於いても極感するものがある。我々は此の運動を今一層躍進させるため此の同盟大会に於て決定し、尚之が実行に努力したいと思ふものである。

実行方法

- 一、組織せられたる組合並に党支部が先んじて此の運動を起すこと。
 - 二、小数の所は地域的に行ひ又党と組合と共同にても行ふこと。
 - 三、之が促進のためには党並に組合はあらゆる場合に消費組合の教育を斥すこと。
- 尚將來に於いて一大消費組合運動とし合同にまで進展させること。

一党と組合との関係決定の件

(組合同盟本部提案)

- ◇提案の要旨 既に大会指令並に第四回中央委員会報告にある如く(二場と針山・大会準備号第十四、第十五頁参照) 本家の骨子は左の如し
- 1 人事関係―日本労働党の次第に確定した公認する組合の幹部を党の常務に關係せしめないこと
 - 2 労働組合独自の任務―特に組合と党との日常闘争に於ける區別を明確にして労働組合と党との組織上の區別をつけること
 - 3 組合政治部の確立―組合政治部を確立しその活動範囲を明確にすること